

# 乳幼児期の育ち

乳幼児期は心身の発達が著しく進む時期です。心身ともに健やかな基礎を育むためには、「愛着の形成」と「豊かな遊びと体験」が欠かせません。

## ① 愛着の形成

愛着の形成は、特定の人(保護者や保育者等)との間に情緒的な結びつきを築くことであり、乳幼児の心の発達に不可欠なものです。

愛着を形成するためには、子どもの声・思いを尊重することが大切です。子どもは「安心したい」「遊びたい」「認められたい」といった思いや願いを持ちながら、保護者や保育者に接してきます。子どもが不安に感じたときは、身近な大人が寄り添うことで、子どもに安心感をもたらすことができます。この経験を繰り返すことで、「安心」の土台が築けます。

## ② 豊かな遊びと体験

子どもは、保育における豊かな遊びと体験により、様々な感覚や心身全体を働かせて、周囲の人々やもの、自然と関わりながら自発性や表現力、コミュニケーション能力を育んでいきます。

自然遊びや鬼ごっこ、縄跳びなどの「遊びと体験」を通して、「挑戦」する意欲が生まれます。

「安心」と「挑戦」  
の繰り返し

「安心」を基盤として、様々な「遊びと体験」を通して子どもなりの「挑戦」を重ねていくことが、子どものウェルビーイングと育ちに繋がります。



幼児期までの子どもたちの育ちに  
係る基本的なビジョン  
(こども家庭庁から引用)

# 保育者の援助と環境構成

保育者には、子どもの「やってみたい」思いを引き出す「遊びと体験」の環境をつくることが求められます。子どもの発達と遊具の活用方法を踏まえた保育者の役割について、①～③にまとめ、示していきます。

## ① 発達の目安を捉える

本書で示す年齢ごとの発達の目安は、平均的な姿をまとめたものです。発達の過程は個人差が大きいため、子ども一人ひとりに応じた遊具の活用(環境構成)と援助が必要です。

## ② 遊具の役割を知る

遊具(道具)は、子どもが「やってみたい」という思いを引き出し、「できた」という達成感や様々な遊びの挑戦に導くものです。遊具(道具)は特定の技能を習得するために子どもに与えるものではありません。遊びを通じた経験の積み重ねが、多様な動きの習得にもつながっていきます。

遊具の使い方について、安全性を考慮する必要があるですが、大人の価値観で使い方を制限したり、正しいとされる使い方に導くのは慎みましょう。注意する場面が多くなる場合は、子ども一人ひとりの特性を保育者同士で共有したうえで、環境を再構成しましょう。

## ③ 保育者も主体的になる

本書で示す遊具を通じ、子どもは他者との関係性や社会生活とつながっていきます。単なる“運動遊び”といったカテゴリーに当てはめるのではなく、保育者も子ども一人ひとりの遊びや動きに寄り添い、「安心と挑戦の循環」を大切にしてください。

保育者が主体的・対話的に「モノ・ヒト・コト」に関わり、まずは大人も“思わず一緒に遊びたくなる環境”を創っていきましょう。

# 運動遊びにおける子どもの発達に対応する遊具

姿

身体  
の  
発  
達

身体  
の  
発  
達  
を  
促  
す  
遊  
具  
の  
一  
例

## 0歳児

様々な運動機能の発達  
視覚、聴覚など感覚の発達

|       |       |
|-------|-------|
| 寝返り   | ひとり歩き |
| 座る    | つかむ   |
| はう    | 振る    |
| 立つ    | 引っ張る  |
| つたい歩き | 叩く    |

## 1歳児

歩行の確立  
指先の機能の発達

|       |       |
|-------|-------|
| 歩く    | めくる   |
| 押す    | つまむ   |
| ぶらさがる | 追いかける |
| 寝転ぶ   | くぐる   |
| 乗る    | 登る    |

## 2歳児

基本的な運動機能の成長  
象徴機能の発達

|       |     |
|-------|-----|
| 歩く    | ちぎる |
| 走る    | 破く  |
| とぶ    | 貼る  |
| 渡る    | ける  |
| ぶらさがる | 投げる |
| すくう   | こぐ  |

## 3歳児

基礎的な運動能力の成長  
体の動きのコントロール

|      |       |
|------|-------|
| 歩く   | 投げる   |
| 走る   | 転がる   |
| とぶ   | またぐ   |
| 押し合う | ける    |
| 引く   | ぶらさがる |

## 4歳児

全身のバランス能力の発達  
様々な物を使った遊びの体得

|      |       |
|------|-------|
| はう   | 踊る    |
| はねる  | 投げる   |
| 渡る   | 登る    |
| 片足とび | ぶらさがる |
| 積む   | はこぶ   |

## 5歳児

滑らかな全身運動  
体全体を協応させた複雑な運動

|        |     |
|--------|-----|
| 投げる    | よける |
| とぶ     | とる  |
| 競う     | あてる |
| もぐる    | むすぶ |
| 浮く     | 泳ぐ  |
| ボールをつく |     |

※単純な動作としての「歩く」から、目的に向かって「歩く」ようになる等、同じ身体発達でも年齢により異なります。

### トンネル

ウレタンマット  
(斜面段差)

低い滑り台

こうぎだい  
巧技台\* (徐々に高く)

ボール (年齢に応じてサイズや材質を変更)

カタカタ玩具

乗用玩具

三輪車

スクーター

ウレタン積み木

中型積み木

大型積み木

固定遊具 (築山、樹木など)

なわとび

トランポリン

跳び箱

フープ

玉入れ

綱引き

ポックリ

竹馬  
ホッピング

### 購入計画

中型・大型積み木に関して、設置されていない区立園が多い。今後調査の上、配付する。

\*滑り台や平均台などを組み合わせた室内遊具